



国立感染症研究所エイズ研究センター
松岡佐織さん
 人間環境大学大学院
市川誠一さん

HIV感染の最新状況を探る 大阪のエイズの状況をめぐる二つの問い

去る九月十六日、「いま、大阪のHIV感染はどうなっているのか？」という問いをテーマに掲げた研修会がdistaで開催されました。この問いに二人の研究者が取り組み、現時点の到達点を報告しました。

実際にどのくらいの人がHIVに感染しているか
 エイズに関心のあるすべての人たちがとって気になっていることがある。それは、**実際にHIVに感染している人たちのうち、いったいどれくらいの人**がそのことを知っており、治

療をうけているのか、という問いだ。この困難な問いに果敢に取り組んでいる研究者が、国立感染症研究所の研究者、松岡佐織さん（エイズ研究センター）。国立感染症研究所は、戦後まもなく、結核、腸チフス、日本脳炎、寄生虫病など数々の感染症が蔓延していた時代に設立された。政府がこれらの感染症に対する対策を講じる際、その科学的根拠を提供するのが主な仕事である。現在ではウイルス・細菌・真菌・寄生虫、獣医学などについての基礎・応用研究のほか、エイズ、インフルエンザ、ハンセン病などに特化したセンターが設置されており、**松岡さんはエイズ研究センターに所属する研究者である。**

さて、松岡さんによると、日本では一九八四年から厚労省によりエイズ発生动向調査が行われており、感染がわかった人の性別・年齢・国籍・感染経路が記録されている。発症前に感染がわかった人はここ数年、毎年ざっと一〇〇〇人、発症後にわかった人（患者）は五〇〇人程度で推移しており、**これまでの累計はおおむね二万七千人である。**しかし実際に感染している人がどれだけのいるかという研究はあまり行われておらず、厚労省が把握しているデータだけでは推定するのが難しい。そこで、海外で行われている研究方法を参考にしながら実際感染している

人の数を推定する研究を進めているが、まだ結論は出ていない。目下のこと言えるのは、**大阪地域では実際に感染している人のうち、ざっと八割くらいの人**が検査を受けてそのことを知っているらしいということ。この割合は東京でももう少し高く、**福岡では低い。**東京、大阪以外の地域ではここ数年、発症後にわかるエイズ患者の数が増えているが、このことは自分がHIVに感染していることに気づいていない人が多いことを物語っているし、福岡以外の地方の状況もこれに近いことが推測される……。

次に、人間環境大学大学院の市川誠一教授がMSM（ゲイ・バイ男性）における感染の状況について報告した。

これまでの調査で、成人男性に占めるMSMの割合は四一％であり、**全国でざっと一三四万人、このうち三六％の人（約四八万人）**がゲイタウンを利用しており、**ゲイタウン利用層は性行動が活発なことがわかって**いる。今後もゲイタウンで予防啓発活動を続けて行くことが重要である。

MSM全体で見ると感染している人の数は横ばいか低下傾向であるが、**一九八〇年以降に生まれた人のあいだでかなり増加**

松岡さん、市川さんの発表からうかがえるのは、国際的な水準に照らし合わせてみても、大阪のエイズ予防対策は高い水準を保っていることでした。この背景には、ゲイタウンの商業施設を経営する人たち、利用する人たち、エイズ予防にかかわる行政の人たち、ボランティアの人たち、企業の人たち、そしてお二人のような研究職の人たち——地域の健康課題にかかわるすべてのセクターの人たちの参画と協働がしっかりと根をおろしているのだとあらためて思った次第です。



発行：MASH大阪
 〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
 ☎ & 06-6361-9300
 http://www.mash-osaka.com/

この資料は大阪市のMSM向けHIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

冬号の紙面VIEW

- 2 面 時事ネタ WATCH
- 3 面 トナリの芝生 大阪市淀川区保健福祉センター
- 4 面 知られざる偉人伝
- 7 面 海外街通信「カナダ」

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です 大阪府版(2017年11月24日現在)

[大阪市]

北区保健福祉センター 大阪市北区扇町1-1-27 ☎06-6313-9882	月・火・木・金曜日 / 9時30分～11時 水曜日 / 14時～15時30分
中央区保健福祉センター 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木 / 9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ) / 14時～15時
淀川区保健福祉センター 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882 ※臨時検査の際の連絡先はこちら ☎06-6308-9968	月曜日 / 14時～15時30分 火曜日 / 9時30分～11時 臨時検査日 12/8(金) / 17時～19時
chotCASTなんば (大阪検査相談・啓発・支援センター) 大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3F 火・木・土曜日 / ☎06-6632-0632 日曜日 / ☎06-4256-8681 ※いずれも検査実施時間のみ。	火・木曜日 / 18時～20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★ / 14時～15時30分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 ※土曜日は13時30分に整理券を配布。 日曜日のみ事前予約制→ (スマホ)http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/ (フューチャーホウ) http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/m
西成区保健福祉センター 大阪市西成区岸里1-5-20 ☎06-6659-9882	臨時検査日 12/4(月)★ / HIVのみ 17時30分～19時(先着30名)

[堺市]

堺保健センター 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-238-0123	第2木曜日 / 9時～11時
中保健センター 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日 / 9時～11時
東保健センター 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日 / 9時～11時
西保健センター 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳南文化センター内) ☎072-271-2012	第1金曜日 / 9時～11時
南保健センター 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日 / 9時～11時
北保健センター 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日 / 9時～11時
ちぬが丘保健センター 堺市堺区協和町3-128-4 ☎072-241-6484	第1水曜日 / 13時30分～15時30分
美原保健センター 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日 / 13時30分～15時30分
堺市保健所(夜間検査) 堺市堺区北花田町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	奇数月・第3水曜日 / 18時30分～20時(先着20名)
堺市保健所(平日即日検査)★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第4木曜日/10時～11時(先着20名)
さかいサンサンサイト★ 堺市堺区北花田町3-1-15 東洋ビル4F ☎072-222-9933	第1土曜日 / 10時30分～12時(先着20名)

[東大阪市]

東保健センター 東大阪市南四条町1-1 ☎072-982-2603	第1・3木曜日 / 9時30分～11時
中保健センター 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日 / 9時30分～11時
西保健センター 東大阪市高井田元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日 / 9時30分～11時

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

<p>HIV陽性とわかって間もない方</p> <p>ひよっこクラブ HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング</p> <p>HIV陽性とわかって間もない同士が集い、安心できる場所で情報や体験を話したり聞いたりする事で、これからの生活のより良いスタートにつなげていくプログラムです。</p> <p>http://www.hiyokkoclub.com/</p>	<p>HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性</p> <p>Cafe・Bar an opportunity ～ただのきっかけ～</p> <p>HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性がふらっと立ち寄れる場所。谷町6丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日14時～18時に開催しています。 注：月曜日が祝日の場合は第三日曜日</p> <p>詳細はこちら http://www60.atwiki.jp/anopportunity/</p>
<p>HIV陽性の方、パートナー・家族の方も</p> <p>サポートライン関西</p> <p>匿名で利用できる電話相談です。かけた方の番号は表示されません。あなたの疑問や心配ごとについて、一緒に考えます。スクリーニング検査で陽性となった方にもご利用いただけます。</p> <p>☎06-6358-0638 月曜～水曜(夜間) 19:00～21:00</p>	<p>エイズに関する様々な相談をしたい方</p> <p>エイズ予防財団</p> <p>エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご相談ください。</p> <p>☎0120-177-812 (無料) ※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料) 月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)</p>

distaが **2017年11月**に **お引越しました。**

いつもコミュニティセンターdistaをご利用いただき、ありがとうございます。おかげさまでこの度、distaは移転して、少し広くなりました。今後とも、コミュニティセンターdistaをよろしく願いたします。

MAP

住所：大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F

☎06-6361-9300 月曜～水曜～日曜/17:00～22:30 火曜休

WEBサイトが新しくなります! http://www.dista.osaka/

[南界堂通信 第21号 編集後記]

- distaのお引越しが10日後に迫っているにも関わらず、梱包作業には全く着手できていない状況! 一抹の寂しさを味わっている余裕もありません!笑(伴仲)
- dista引越しと同時期に(偶々)職場も移るので、バタバタします(大畑)
- 翌日に備え、日が変わる前に寝よう心掛けています。(泰平)
- 引越しを間近に控えて、distaを訪れる人が急増するのは何故?ウレシイけど……(哲)

時事ネタ WATCH

中高年MSMと暮らし

刑法改正!

男もレイプの被害者として保護される事に

「強姦罪」が「強制性交等罪」に

国会で刑法が改正され、第177条の「強姦罪」が、「強制性交等罪」になりました。刑法は、明治40年(1907年)に制定され、これまでいくつもの改正を経てきましたが、性犯罪に関しては、制定以来110年ぶりの大きな改正です。主な改正点は、

- ①被害者の告訴がなくても裁判にできるようになった
- ②親などの監護者が、子にわいせつ行為を行った場合の犯罪の新設
- ③法定刑の下限を「3年以上の有期懲役」から「5年以上の有期懲役」に引き上げた

等ですが、ここ「ゲイ・バイ男性」として重要なのは、④処罰対象を拡大して、「強制性交等罪」とした点でしょう。

これまでの「強姦罪」(刑法177条)は、「暴行又は脅迫を用いて13歳以上の女子を姦淫した者は、強姦の罪とし、3年以上の有期懲役に処する。でしたが、今後は、「13歳以上の者に対し、暴行又は脅迫を用いて性交、肛門性交又は口腔性交(以下「性交等」という。)をした者は、強制

性交等罪とし、5年以上の有期懲役に処する。」となります。

つまり、被害者の性別を問わないと同時に(Ⅱ)「性中立化」、性行為についても、膣への挿入だけでなく、オーラルセックス、アナルセックスも処罰の対象になる訳です。すなわち、男性から男性への強制的な性行為も入る事になります。

従来の強姦罪	加害者	
	男	女
被害者	男	×
	女	○

○=処罰対象

改正後の強制性交等罪	加害者	
	男	女
被害者	男	○
	女	×

ただし、もちろん、処罰対象は強制的な(相手の同意に基づかない)行為であり、「暴行又は脅迫」を手段とすることが要件である点は旧法と変わりません。この暴行・脅迫は、被害者の抵抗を抑圧するまでの必要はないものの、被害者の抵抗を「著しく困難にする程度のものであることを要する」となっています。

「親友に犯されて…」

もしかして、腕力差がある男から女への暴行と違って、男同士だとそんな事があるのか?と疑問に思う方もいるかも知れません。しかし、例えば、西日本新聞(7月17日)は、次のような実例を紹介しています。

2015年夏、関西にある大学のカウンセリಂಗルームで、4年生の小田雅人さん(22)「仮名Ⅱは精神科医に切り出した。「実は、親友に犯されて…」

加害者の男性は、12年来の親友だった。被害の約1年前、同性愛者だと打ち明けられた。男性は、小田さんが女性と旅行したことをとがめたり、体を触ったりするようになる。小田さんが抗議すると、馬乗りで顔を殴られ、口を使った性行為を強要された。「嫌だ」と言っただけにペナルティのように殴られた。

しばらくして男性の謝罪を受け入れると「誕生日のお祝いをさせて」と食事に誘われた。その日、肛門性交による被害に遭う。殴られた痛みと恐怖がよみがえり、抵抗できなかった。翌朝、泣きながら帰宅し、熱を出した。その夜、遺書を書いた。

スメです。

性別はもちろん、年齢層も幅広い受検者が多いのが特徴の淀川区には、「夢ちゃん」というマスコットキャラクターがいるのだが、頭には淀川区の花・パンジー、横縞デザインの服には神崎川と淀川の流れが意図されている。

そして、淀川区と言えばLGBT支援宣言を打ち出している事でも有名。

区役所の入口にも大きなレインボーフラッグが掲げられている他、庁舎内のあちこちにレインボーが描かれている。そこで動いている人たちの名札にもちろんレインボー。セクシユアルマイノリティに寄り添う心意気も随所に見受けられる。

また、12月1日の世界エイズデーに合わせて、淀川区も独自の取り組みをされるそうなので、ご紹介させていただきます。

臨時夜間検査 (HIV・梅毒・クラミジア)	HIV/エイズパネル展
検査日: 12月8日(金) 17:00~19:00 結果交付日: 12月15日(金) 17:00~19:00	期間: 11月27日(月)~12月19日(火) 淀川区役所1階にて開催



た。・・・と、かなりショッキングな記事です。

昨今の「LGBTプライム」の中では、いじめやハラスメント等の場面において「被害者としてのLGBT」がクローズアップされる傾向があったように思います。が、今後は「加害者としてのG」も焦点化されていくのかも知れません。(そういえば、ちよんちよん「ハッテン銭湯と呼ばれて」ゲイのハッテン被害に悩む銭湯店主の本音」と言う記事がネットで話題になりました。http://ife.fairbee.com/hatten_senju_01/ 「LGBTの権利運動が進む一方、これまで表立って語られてこなかった一部のゲイによる行為の是非に注目が集まり始めています。」と述べて、これも興味「加害者としてのゲイ」に焦点を当てています。)

更なる法改正の動き

もともと、今回の法改正に向けて動いてきたのは、性暴力被害者を支援する女性の権利の活動家が主でしたが、それとともに、セクシユアル・マイノリティの問題に取り組んできた「レイプクライシス・ネットワーク」も動いてきました。

今回の法改正で被害者が男女か

を問わない事になりましたが、行為はあくまで性器(陰茎)によるものですので、例えば、女性から女性への(性器によらない)強制挿入行為は対象ではありません(ただし、強制わいせつ罪には当たり得ますが)。

異物や手指の挿入でも、被害者が受ける精神的苦痛の大きさは、性交等と何ら変わらないとして、「性交等」と同等に取り扱うべきであるという意見もあります。

そこで、「レイプクライシス・ネットワーク」のプロジェクトとして、「Broken Rainbow-Japan」を立ち上げて、3年後の法改正見直しのために、活動を開始したとの事です(ツイッター:https://twitter.com/BrokenRainbow-Jp)。

「Broken Rainbow」って「壊れた虹」ですね。

賛同人には、東京・aktaのジャンジさんも名を連ねており、「性被害を受けてなお、セクシユアリティで差別される社会はおかしいです。ペニスに限らず、その行為が裁かれる必要があります。すでにLGBTsの中でも、起こっているこ



薬の飲み方について

薬は直接食事と関係あるものもありますが、必ず食後でなければいけない薬は少ないです。食後になっていくことが多いのですが、理由の一番は胃腸障害を避けることが目的の一つです。同時に生活スタイルとお薬の飲み方をそろえることで、薬の服用率を上げることが大切です。

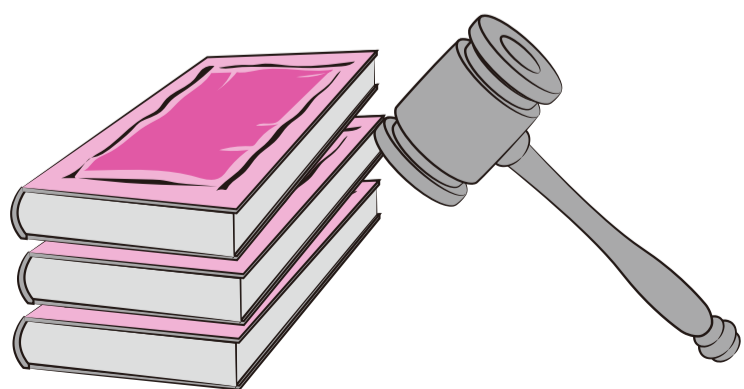
患者さんの中で良く聞く意見は「昼食後の薬を持って出るのを忘れて飲みないことが多い」「朝が遅いので昼食後まで、あまり時間が空いていないから飲めない」などといった場合、担当のお医者さんに生活のリズムと薬を飲むタイミングが合っていないことを相談することも一つの方法です。高齢の方で「食事がとれないから薬を飲んでいない」と言われたこともあり、優先していただきたいとはなしたこともあります。

また薬の中には、空腹時で飲

と…」というメッセージを寄せています。

セックスは…

お互いが楽しく気持ちよくセックスすることが大切です。相手の同意なく性行為に及んだ時点で、それは「セックス」ではなく「性犯罪」だという認識を持つと共に、今回の法改正を広く知る必要があります。そして、男同士の強制的な性行為についてどういう実態があるのかの把握も必要でしょう。



ちょっとした下町風情と駅前広がる小便横丁、そして歓楽街。北区と川を挟んですぐ隣りに位置する淀川区保健福祉センターにお邪魔してきました。



大阪市淀川区保健福祉センター

大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882
http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/

【検査日時】
毎週月曜日 / 14時~15時30分
毎週火曜日 / 9時30分~11時



週に2回の検査ではやはり午後から実施の月曜日の方が混み合う事が多いらしいので、空いている状況が良ければ火曜日の午前中がオススメ。

阪急電車で淀川を超えるだけ、梅田からすぐの十三駅。神戸線、宝塚線、京都線の分岐点でもあり、たくさんの方が行き交い賑わう街・十三。駅前の商店街を抜け少し歩くと屋内プールが併設された淀川区役所が見えてくる。庁舎の2階部分に位置する淀川区保健福祉センターには12名の保健師が在籍する。同じフロアには子育て支援の窓口やお子様用のプレイルームが完備されていることもあり、無邪気な子供たちの笑い声で溢れかえることもあるそう。

ある意味混沌とした雰囲気の中で行われる検査に対して、受検者の声を聞いてみたところ、モヤモヤした気分が吹っ飛びの、嫌がる人や苦情はほとんどないそう。

また、12月1日の世界エイズデーに合わせて、淀川区も独自の取り組みをされるそうなので、ご紹介させていただきます。

臨時夜間検査 (HIV・梅毒・クラミジア)	HIV/エイズパネル展
検査日: 12月8日(金) 17:00~19:00 結果交付日: 12月15日(金) 17:00~19:00	期間: 11月27日(月)~12月19日(火) 淀川区役所1階にて開催



文 ● くらめき薬局
大阪医療センターの西門前にあるくらめき薬局。季節ごとに色とりどりのお花を飾っています。来局者のプライバシーを一番に考慮し、薬局としては珍しい個室の相談スペースも設置しています。気兼ねなくなんでもご相談ください! お薬の事はもちろん、食事指導のご相談にもりますよ!



でも飲まなくてははいけなかった場合、1日1回でも大変です。休みの日はゆっくり寝たいし、朝仕事に行くときは忙しくて忘れてしまうことも、今日飲んだっけと思う事も。まずは生活スタイルと薬を飲むタイミングを合わせる事が大切です。タイミングは一人一人違うのが当たり前です。処方箋薬を飲むことになった場合は処方箋を書いてくれる担当医師に相談し医師から指示されたことを守ると言うより自分も処方設計に参加するとおもってもらうのが良いと思います。

〒540-0012
大阪市中央区谷町4丁目6-3 シーダプレイスⅡ
TEL.06-6942-0311

鷗外と漱石―性愛表現の分水嶺その1

知られざる偉人伝



森鷗外
(小説家、評論家、翻訳家、
陸軍軍医、官僚/1862-1922)

文●鬼塚哲郎
あと数年で定年を迎える大学教員。スペイン語圏の文学、芸能を偏愛。考えてみると、鷗外のようにアッケラカンと性愛を語る作家はキリスト教世界ではほとんど見当たらない。前回紹介したキューバのアレナスもゲイライフをアッケラカンと語ってはいるが、その背景には、ゲイの存在を認めさせようとする壮絶な闘いの姿勢が感じられる。鷗外のアッケラカンは、やはり、江戸の文化の名残りだろう。そして漱石は……

もし外国の方に、近代日本を代表する作家は誰と尋ねられたら、読者の皆さんは何と答えるだろうか。私ならまず**漱石の名をあげ、あとは「ウーン、いろいろいるけど……」とお茶を濁すかもしれない**。鷗外の名は、有名だけれどあまり読んでないし、口にするのをはかるともいれない。なんだか、随分むかし、違う時代の作家、というイメージがつきまとうのだ。

しかし鷗外は漱石のわずか五歳年長にすぎない。その彼が一九〇九年(明治四十二年)、**四十七歳のときに発表した小説『平**

タ・セクスアリス』(現代の表記ではウイタ・セクスアリス)『性生活』を意味するラテン語。鷗外は「性欲的生活」と言うことを読んでみたら、これがとても面白かった。なにせ当時の鷗外は陸軍軍医のトップの地位にある超エリート(の医者にして官僚。そんな彼が金井湛(かねい・しずか)という主人公を語り手に据えた小説を発表するのだけれど、この金井湛、どう考えても若き鷗外の化身だから、たいがいの読者はこの作品を鷗外の自伝的私小説として読むことになる。

ある日、通っている学校の寄宿舎に金井君が立ち寄ったところ、そこでは男色が行われており、金井君もとある先輩に目を付けられる。地方出身の金井君はやがて寄宿舎に住むことになるのだが、当然のように先輩たちと狙われる。あやうく難を逃れる金井君だったが(先輩の一人がそと近づいて来るのに気付いた金井君は、短刀を握りしめ、部屋の窓から屋根に逃れるのである)、観察も怠らない。日く「性的に観察して見ると、その頃の生徒仲間には軟派と硬派とがあった……」とし、軟

派は男女の絡む面を見たり、遊郭に行ったりする連中、硬派は美少年と兄貴分の男との恋物語を争って読んだり、目をつけておいた後輩をレイプしたりする連中だという。面白いのは、硬派は例外なく九州山口の出身であったこと。金井君によれば硬派は少数派ながらも寄宿舎内では威張っていたらしい。軟派すなわち女に墮落させられた男というイメージがつきまとうていたのである。

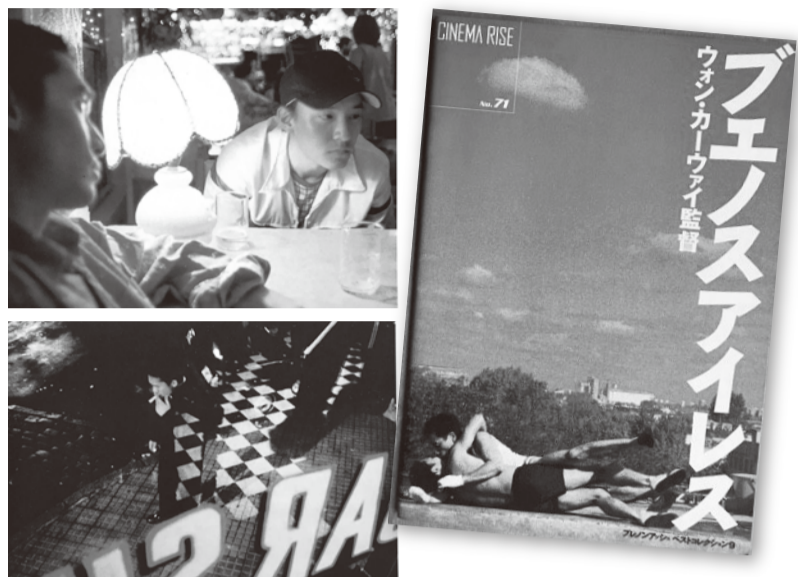
それから随分月日が経った或る日、金井君はかつて硬派だった古賀君と軟派だった三枝君と連れ立って吉原遊郭に赴く。この折の古賀君の行動は江戸時代の小説『東海道中膝栗毛』の主人公弥次さん喜多さんにくくりだ。弥次さん喜多さんは恋人同士だが、江戸を離れると旅先で飯盛り女を買ったりする。性行動がアイデンティティと繋がっていないのだ。自分が誰と寝ようとして――相手が男だろうと女だろうと――そのことを自分自身に説明する必要はない。硬派だった古賀君が大人になって遊郭で女と寝ようとして、どのような説明も不要なのである。

もうひとつ、「あ」と驚いた派は男の絡む面を見たり、遊郭に行ったりする連中、硬派は美少年と兄貴分の男との恋物語を争って読んだり、目をつけておいた後輩をレイプしたりする連中だという。面白いのは、硬派は例外なく九州山口の出身であったこと。金井君によれば硬派は少数派ながらも寄宿舎内では威張っていたらしい。軟派すなわち女に墮落させられた男というイメージがつきまとうていたのである。



『ブエノスアイレス』

監督/ウォン・カーウエイ
出演/トニー・レオン、レスリー・チャン、チャン・チェン



※写真は著者私物

じり、罵倒し、それでも寄り添う。そんな姿をクリストファー・ドイルのざらついた映像の中で描かれていた。

すでにゲイとしておおむらではないけれどそれなりに認識し、それなりに謳歌していた自分には、どちらのキャラクターの生き方にも憧れと同時に恐怖を感じたことを憶えている。それ以来、なかなか再見する気持ちになれなかったのだけど、今回久しぶりに観るとやはり当時と同じチリチリとした感じが蘇った。そして「刹那」という二文字が頭に浮かんでいった。

成瀬曰く喜劇監督の傑作映画『浮雲』のキャラクターにも通じる、どうしようもなく抗えない「標榜」と刹那がこの作品にもある。ジャンプカットという余白で関係性を想像させたり、煙草をめぐるジャン・ジュネの暗喩は今見ると、少しばかり稚拙さを感じられるけれど素晴らしい愛の物語には変わりない。

今年で公開から20年経った今、観た人もまだ観ていない人も、愛のあり方の一つを改めて認識するものとして、観てほしい作品。

90年代に入り「欲望の翼」「恋する惑星」「天使の涙」を次々と発表したウォン・カーウエイ監督。それまでの香港映画のイメージを覆すスタイリッシュな語り口と映像、音楽は、自分も含めて当時、渋谷系カルチャーに熱狂していた若者を中心に受け入れられた。それだけに当時公開された「ブエノスアイレス」は衝撃だった。

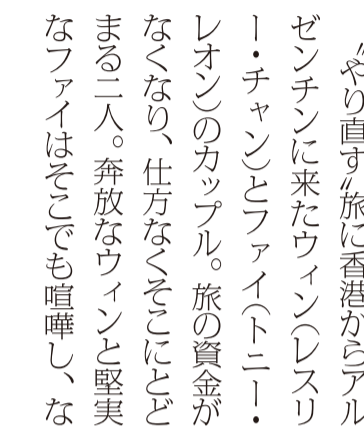
かくい自分もウォン・カーウエイ監督が男同士の映画を作る!と知った時は期待と不安が入り混じっていた。一時、90年代頭に「ブエノスアイレス」的なブームが雑誌などであったものの、まだまだ90年代は同性愛者にとっては生きにくい時代だったから。ましてや香港発の同性愛映

画ははたしてどんな仕上がりになるのだろうか……。当時、試写で観た「ブエノスアイレス」は、20代後半だった自分にとって実に胸に痛い映画だった。

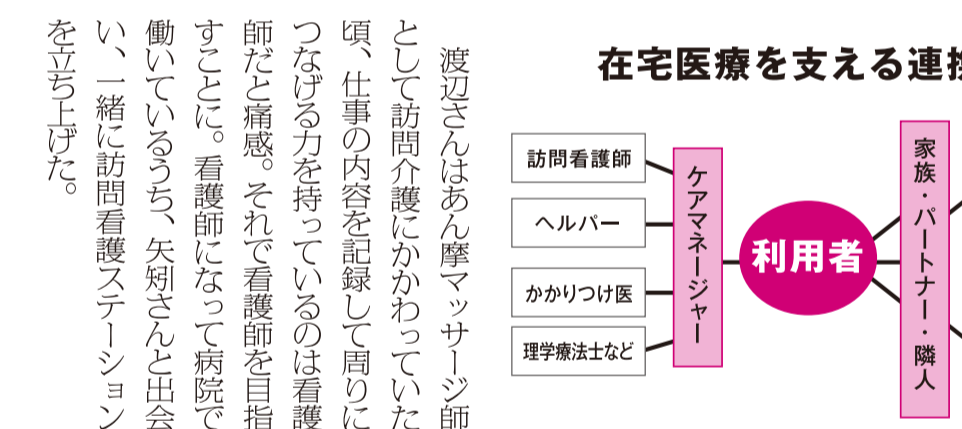
『やり直す旅に香港からアレン・チャンにきたウイン(レスリー・チャン)とファイ(トニー・レオン)のカップル。旅の資金がなくなり、仕方なくここでとまる二人。奔放なウインと堅実なファイはそこでも喧嘩し、な

り、罵倒し、それでも寄り添う。そんな姿をクリストファー・ドイルのざらついた映像の中で描かれていた。

すでにゲイとしておおむらではないけれどそれなりに認識し、それなりに謳歌していた自分には、どちらのキャラクターの生き方にも憧れと同時に恐怖を感じたことを憶えている。それ以来、なかなか再見する気持ちになれなかったのだけど、今回久しぶりに観るとやはり当時と同じチリチリとした感じが蘇った。そして「刹那」という二文字が頭に浮かんでいった。



パニラ・ノブ
大阪市生まれの40代。ライオン誌編集者、ブランジャー、フランドロクイーン、ドリアグクイーンとネットのペビー・ヴァギーとネットラジオ「シネマ百貨店」(ポッドキャストで検察)と毎週木曜限定の酒肴バー「5DAYS BAR」堂山でやっています。



第7回目の今回は「中高年世代の訪問看護をテーマに(へから)訪問看護ステーションの渡辺匡人さん、矢矧仁さんをゲストに迎えお話を伺いました。来場者からも「ワタシの場合……」という声が続々とあがり、活発なお茶会となりました。

渡辺さんはあん摩マッサージ師として訪問介護にかかわっていた頃、仕事の内容を記録して周りにつなげる力を持っているのは看護師だと痛感。それで看護師を目指すことに。看護師になって病院で働いているうち、矢矧さんと出会い、一緒に訪問看護ステーションを立ち上げた。

参加者のなかには、認知症の親族を実際に介護している方、将来自分が介護される側になったときに不安だという方が多く見受けられました。H・I・Vに理解のある介護関係者が増えてきているものの、そのようなプロにどうやって出会えるのかという質問には「オープンにしている事業者が少ない中、そのような事業者間のネットワークを広げていき、成功事例を共有していくことが大切だ」という意見がありました。お茶会の後、名刺交換をする方々も見られ、文字通りネットワークが広がっていく場となりました。

✈ 海外男街通信

Canada

世界各国の男街を紹介するこのコーナー。
今回はトロントからお届けします!!



文・写真●たいちよん
1983年北海道生まれ。カメラマン兼デザイナー。アラフォーを目前にして、これからの生き方に疑問と焦りと不安を感じ始めている。大学へ入学したり、バンドをしたりと絶賛迷走中。楽しいと思ったことをするグループ「楽しい法則」を、2017年からのんびり運営中。

移動にはトロント内を縦横無尽に走る地下鉄が便利!どこにでも行けます。もう一歩踏み込んで、路面バスも大変オススメです。土地が広いので、徒歩と地下鉄だけでなく、移動だけで時間を取られます。始めはバスに乗る度胸が無くて景色も見れるし歩けばいいやと自分を納得させていたのですが、**路面バスに乗れる**

これであなかも旅慣れテラー? 移動にはトロント内を縦横無尽に走る地下鉄が便利!どこにでも行けます。もう一歩踏み込んで、路面バスも大変オススメです。土地が広いので、徒歩と地下鉄だけでなく、移動だけで時間を取られます。始めはバスに乗る度胸が無くて景色も見れるし歩けばいいやと自分を納得させていたのですが、**路面バスに乗れる**

トロントのHIV/エイズに関するセンターも多様で、アジア人・白人・黒人を対象にそれぞれ団体が立ち上がっていて、その人たち向けに必要な情報やサービスを提供しています。ACASという団体にお邪魔したとき、スタッフのガブくん(若い可愛い)が教えてくれたのですが、センターがもつ役割も幅広いです。**LGBTの人権運動や労働支援、暴力被害のシェルター、**

カナダは様々なエスニックタウンがあります。チャイナタウン、コリアンタウン、リトルイタリー、ギリクタウンなど、そのエリアに行くのと町の雰囲気や空気がガラッと変わります。**路地の標識が、その町に合ったデザインになるので、ぜひ標識の違いも見てみて下さい。(ちなみにゲイヴィレッジの標識はレインボーになっています)エスニックタウンは、中心街から四方八方に散らばっているの、訪れる際は予定を立てると良いですよ。**

お久しぶりです。年齢にして語学留学してきました。前回同様(※英語が全く出来ないの、苦手克服の旅です。)(※詳しくは南界堂通信vol.7号をご覧ください。え?そんな昔の南界堂通信は無い?それは残念。いつか来るweb配信の日までのんびりお待ち下さい) さて、今回の目的地はカナダ東部(トロント)。トロントは**LGBTに取って住みやすい町と言われています。LGBTが観光産業となっている珍しい所です。** また、カナダは、様々な、民族・人種・文化が入り乱れる町。移民で成功した国とも言われています。そんな多様な人たちが、**楽しんで(時には真剣に)話をしている姿は、日本の中で日本人としか話さない自分には新鮮に見え、改めて「多様性とはなんだろう」と考えるきっかけになりました。**

一見多様性文化が根付いているように見えるトロントですが、差別や偏見からくるトラブルはあるそうです。理解や認知があったとしても、LGBTなど性的なマイノリティを持つ人が自分らしく生きられるほど寛容というわけではなく、時には暴力を受けることもあるそう。あるコミュニティセンターにお邪魔したときに、「そこを「シェルター」と呼ぶ人もおり、LGBTであることのリスクを感じ取ることができません。

多様性の中にある差別や偏見 一見多様性文化が根付いているように見えるトロントですが、差別や偏見からくるトラブルはあるそうです。理解や認知があったとしても、LGBTなど性的なマイノリティを持つ人が自分らしく生きられるほど寛容というわけではなく、時には暴力を受けることもあるそう。あるコミュニティセンターにお邪魔したときに、「そこを「シェルター」と呼ぶ人もおり、LGBTであることのリスクを感じ取ることができません。

トロントのゲイヴィレッジ(向こうはゲイタウンと言わない)と名高いチャーチストリートでは、**一般企業も軒を連ねているのですが、企業の見える所にレインボー関連の旗やモニュメント、デザインがあります。** ストリート沿いには、カナダ5大銀行のひとつ、ROYAL BANKやBMO、また、日本でも馴染み深いTHE BODY SHOPなどもあり、どの企業もレインボーフラッグの設置や、自社ロゴをレインボー仕様にしてしています。(すこ)

いかがだったでしょうか。カナダを見ると、日本の中のLGBTの扱われ方などのギャップに驚くことはかりですが、まだまだ伸びしろも沢山あるように思いました。興味を持たれたら是非カナダに行ってみて下さいませ!

トロントのゲイヴィレッジ(向こうはゲイタウンと言わない)と名高いチャーチストリートでは、**一般企業も軒を連ねているのですが、企業の見える所にレインボー関連の旗やモニュメント、デザインがあります。** ストリート沿いには、カナダ5大銀行のひとつ、ROYAL BANKやBMO、また、日本でも馴染み深いTHE BODY SHOPなどもあり、どの企業もレインボーフラッグの設置や、自社ロゴをレインボー仕様にしてしています。(すこ)

トロントのゲイヴィレッジ(向こうはゲイタウンと言わない)と名高いチャーチストリートでは、**一般企業も軒を連ねているのですが、企業の見える所にレインボー関連の旗やモニュメント、デザインがあります。** ストリート沿いには、カナダ5大銀行のひとつ、ROYAL BANKやBMO、また、日本でも馴染み深いTHE BODY SHOPなどもあり、どの企業もレインボーフラッグの設置や、自社ロゴをレインボー仕様にしてしています。(すこ)

男 for you 朋友

鍛え上げられた肉体美にちょっとした「華」を添えるパンツの世界を演出するアパレルメーカー、EGDEの社長の周藤真治さんに突撃インタビュー!!

エッジの効いた下着で勝負を仕掛ける...

ここ数年、実用性だけではないオシャレでセクシーな下着ブームが巻き起こる中、エッジの効いた商品展開で我々をアツと言わせているEGDE商品。その秘密に迫ります。



MASH大阪(以下M)...ここ数年、男性向け下着のバリエーションが随分広がった印象があります。周藤:そうですね、ゲイは昔からそうだったんですけど、**ノンケさんがセクシーな自分に開眼したというか、ジムなどで自分のカラダをセクシーに見せたい、と思うようになったのが大きいと思います。**でも、父から会社を継いだときは、靴下メインのアパレルメーカーだったんですよ。M:それが、文字通りエッジの立った男性下着メーカーに変貌したのは? 周藤:大学を出て、父の会社を継ぐ前に女性向け下着の販売会社でしばらく働いていたのですが、そのときベビードールの存在を知ったのが大きかったです。女のセクシーさをこれでもか!って打ち出すタイプの下着ですよ。その後、会社を継いでから、男の色気を前面に打ち出す下着を売りに出せないか、って

考え始めたんです。5年くらい細々とやっていたんですが、それが阪急メンズ館に入ることになって、「よし、これから男性向けセクシーな下着メインでやっていこう!」って決心した。M:その男性向けセクシーな下着をデザインするのは周藤さん? 周藤:いえ、私の役割はこんななんあったらいいのになあ...というアイデア出しですね。スポーツマンやGOGOBOYのようにガタイのいい男に似合うもの、穿いてほしいものを考えて、それをクリエイターチームで「こういう色にしたい」とか、「この辺に〇〇が欲しい」とか、詰めていきま。それをデザイナーが製品のかたちに落とし込んでいて、工場に渡す。場合によっては工場からデザインのアイデアをいただいたこともあります。二年ほど前フンドシ型パンツをつくりませんでした。パフォ

マーの方から提案いただいたんですが、その時は時期尚早と判断して見送りました。最近になって、「日本男児」を縫い取り出して見たらこれが大当たり!「フンドシ」というコンセプトが結びついて斬新なヒット商品が生まれた成功例だ

モデルのざわちん君からコメント▶ 私はタイトなデザインを非常に好みます!ですが下半身がガッチリしているので、普段は少しゆったりしたモノを履いています。もっとオシャレな下着を履きたい...という私にピッタリのアンダーウェアEGDE!見た目は勿論のことタイトでスタイリッシュ!さらに機能性も兼ね備えている私の求めていた最高の一品です!

と思っています。M:ネット上でも販売されていますが、顧客層は? 周藤:男性のお客が多いですが、売上の1割が海外ですね。一番多いのが中国、それから台湾、香港、米国、韓国、タイと続きます。M:製造はメイド・イン・ジャパンにこだわっていると聞きました。周藤:製品の多くが、股上の浅い、ヒチヒチのパンツですから「目飛び」(ほつれの元になる縫製の難)があると困る。日本の工場で作られるものもとても目飛びが少なく、あったとしてもすぐ修正できる。あと、日本製の良さを発信していきたいというのも大きいです。M:どんな方たちに穿いてほしいと? 周藤:ゲイ、ノンケを問わず、自分をセクシーに見せたい男たちに穿いてほしいですね。そうしたマーケットは小さいのかもしれませんが、自分たちの好き

なものに共感して下さる方が買ってくれば嬉しい。M:最近のLGBTブームをどうご覧になっていますか? 周藤:いま、どの企業もゲイをマーケットとして捉えはじめていますから、ここ5年くらいでしようか、アドバイスを求められることが多くなりました。いい時代になったと思います。ただ、マーケティングの戦略を練るのは楽しいのですが、時代の変化が激しくて大変ですね(笑)。予測がつかない。ゲイイベントにも積極的に参加して、アンテナを磨いておかないと。もとより芸術やファッション業界はLGBTがリードしていると言われますが、これからもっとあらゆる業界でLGBTならではの発想とクリエイティブ性が認められる世界になれば良いなと思います。M:貴重なお話を、どうもありがとうございました。

トロントのゲイヴィレッジ

トロントのゲイヴィレッジ(向こうはゲイタウンと言わない)と名高いチャーチストリートでは、**一般企業も軒を連ねているのですが、企業の見える所にレインボー関連の旗やモニュメント、デザインがあります。** ストリート沿いには、カナダ5大銀行のひとつ、ROYAL BANKやBMO、また、日本でも馴染み深いTHE BODY SHOPなどもあり、どの企業もレインボーフラッグの設置や、自社ロゴをレインボー仕様にしてしています。(すこ) また、入り口すぐの所に描かれている壁画はグッと来るエネルギーを感じられるのでお越しの際は是非見てみて下さい。また、チャーチストリートは、そこそこ交通量の多い道路です。何度か道路をわたることがあると思うのですが、この区画には横断歩道がレインボー仕様になってるので、是非一度見せて下さいね!(日本でもやったら楽しそうだ)